

備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

事業の概要			
事業開始年度		平成17年度～	
総合計画	大項目	基本目標	01 安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目	基本施策	03 災害に強いまちづくり
	小項目	施策	01 河川改修・砂防施設整備
事務事業名		03	河川維持管理事業
		根拠法令・例規等	河川法
		問 担当課(室)	都市整備課
		合 職・氏名	土木係長 尾野田瑞穂
		先 電 話	0869-64-1850
		このシート作成に要した時間	3.0 時間

事業の目的	
対 象 (誰・何に対して)	河川沿線で生活を営む市民
目 的 (何のために)	台風等の大雨での河川増水のための氾濫・決壊による浸水被害を防ぐ。
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	河川維持修繕の必要な箇所への不適切な対応による事故の発生を防止する。

事業の実績			
目的を達成するために実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	河川維持管理事業	河川の既設構造物が老朽などにより部分的に傷んでいるところを修繕する。	

事業費等		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績	
決算額	直接事業費		7,893	23,156	10,356	
	必要人員(人件費)	千円	0.43人	3,202	0.23人	1,509
	事業費		11,095	24,665	12,316	
	国 県 支 出 金	千円				
	受 益 者 負 担					
	繰 入 金 債					
そ の 他 ( )						
一 般 財 源		11,095	24,665	12,316		
受 益 者 負 担 比 率	%					
結果指標名		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績	
結果指標	説明		修繕1箇所当りの活動コスト			
	結果指標量	事業	30	81	41	
	対前年比	%	-	270.0%	-	
	活動コスト	円	11,095,000	24,665,000	12,316,000	
単位当たりコスト			369,833	304,506	300,390	

事業の成果					
成果指標名	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値
河川維持管理不足による事故発生件数	目標値(A)	0	0	0	0
	実績値(B)	0	0	0	到達目標値
	達成率(B/A)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	毎年
成果指標設定の考え方・式や説明					
河川維持管理不足による事故発生件数が「0」件の場合は達成率100%、1件でも事故が発生した場合は0%とする					

事務事業の評価			
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 <A-E> <b>A</b>
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A-E> <b>B</b>
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参加している	有効性評価 <A-E> <b>B</b>

進行年度(H22年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	修繕内容を十分精査し、安全・安心の観点から優先順位をつけて実施する。					

総合評価	
修繕内容を十分精査し、安全・安心の観点から優先順位をつけて事業実施しているが、更なる事業費削減事務処理機能工場を図る必要がある。	評価区分 <A-E> <b>B</b>

平成23年度の方向性及び取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	破損箇所を十分精査し、優先順位をつけて実施し、更なる事業費削減を図る。					

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性の評価を行って下さい

事業費や単位当たりコストは留意しながら効率性の評価を行って下さい

留意事項  
 留意事項の目的やその数値目標を達成するための成果指標

